

15 地場産業の状況はどうなっていますか。

モノづくり愛知を支える地場産業の製造品出荷額等は県内製造業の18.3%となっています。

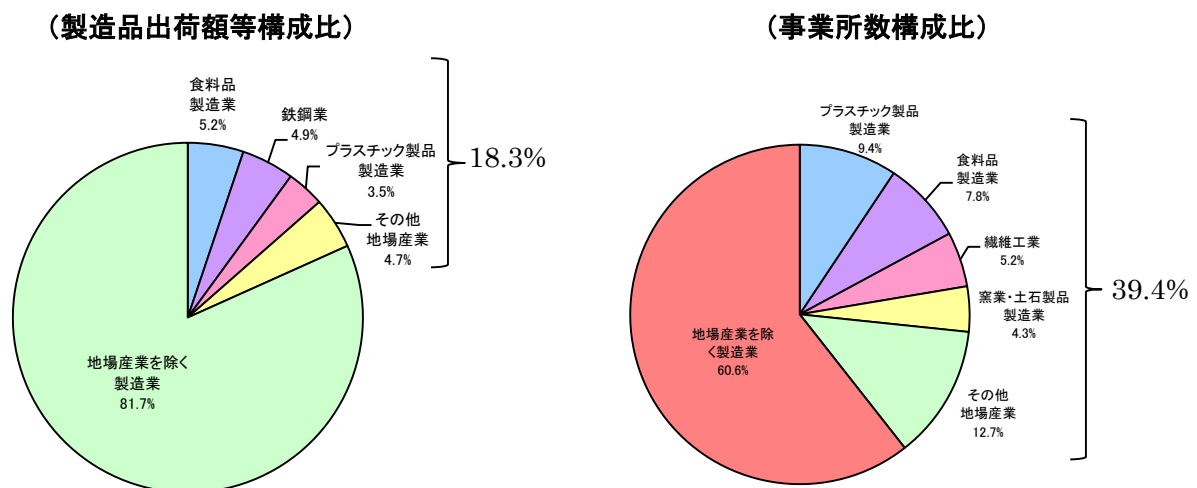
本県の地場産業(食料品(飲料・飼料を含む)、繊維工業、木材・同製品、家具装備品、紙・同製品、プラスチック製品、皮革・同製品、窯業・土石製品、鉄鋼業、その他の製造業の10業種(用語解説))が県内製造業に占める割合(2020年)を見ると、製造品出荷額等は18.3%(8兆0,431億円)、事業所数は39.4%(5,750事業所)(図1)となっています。

す。

製造品出荷額等の全国シェアを見ると、繊維工業、プラスチック製品、窯業・土石製品、鉄鋼業の4業種が全国1位、食料品、その他の製造業は全国2位、家具装備品は全国3位、皮革・同製品、紙・同製品は全国4位、木材・同製品は全国5位となっています(図2)

グラフでみてみよう

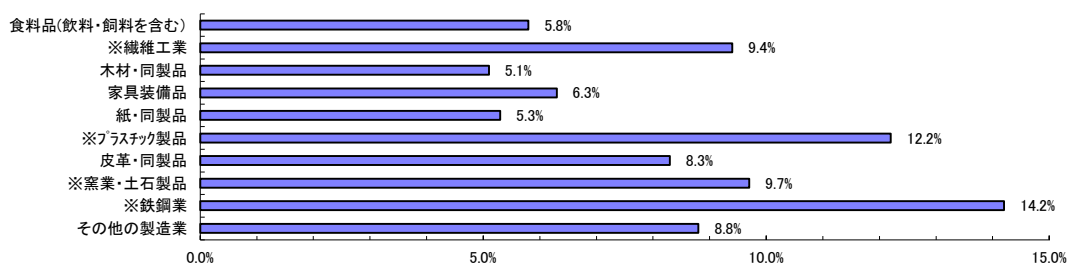
● 地場産業の対県内製造業シェア(図1)



資料：総務省・経済産業省

「令和3年経済センサス活動調査」

● 地場産業の製造品出荷額等 全国シェア(※は全国第1位のもの)(図2)



資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

用語解説：地場産業

地場産業の概念としては、「地元資本をベースとする中小企業が一定の地域(概ね県)」に集積しつつ、地域内に産出する物産等を主原料として、又は蓄積された経営資源(技術、労働力、資本等)を活用して他地域から原材料を移入し、これらを加工し、その製品の販路として、地域内需要のみならず地域外需要をも指向する産業と位置づけられています。